

5. 九 州

- ・ 鶴 見 岳：伽藍岳の鉾山跡で昨年7月ごろから泥火山が出現しているのが確認された。7月に山体の西側で地震が多く観測された。
- ・ 雲 仙 岳：噴火活動は停止状態が続いている。
- ・ 阿 蘇 山：4月27日以降6月まで第一火口南側火口壁で赤熱現象が観測された。火口底では全面湯溜りが続き、7月30日には土砂噴出が観測された。
- ・ 桜 島：6月に爆発が4回発生したが、7、8月爆発はなかった。9月になってから地震が増加し、小規模な爆発が5回発生した。
- ・ 霧 島 山：特に変化はなし。

6. 南方諸島・南西諸島及び海底火山

- ・ 口永良部島：今年1月からの地震活動が継続している。
- ・ 諏訪之瀬島：噴火活動を継続中。
- ・ 福德岡ノ場：9月以降、航空機により変色水を観測した。

平成8年10月2日
気 象 庁

九重山の火山活動に関する 火山噴火予知連絡会統一見解

九重山では、5月ごろに地震、火山ガス、噴煙量に活発化の兆しが見られ、地殻変動は膨張傾向にあった。しかし、その後これらの活動は比較的落ち着いたレベルで推移し、地殻変動は収縮に転じた。このように、活動レベルに消長が見られるが、大きな変化はない。今後とも、その活動を監視していく必要があり、引き続き、火山活動に注意が必要である。